



八中だより



第20号

令和8年2月16日

府中市立

府中第八中学校

学びと
思いやり

T182-0035

府中市四谷一丁目二八二七
電話 ○四二(三六四)一八八一

〈在籍生徒数〉 一学年249名、二学年218名、三学年245名
全校生徒数712名
〈学校住所・電話番号〉

★「子ども緊急避難の家」連絡会に、たくさんの方々が参加されました。子どもの安全への取組に感謝いたします!

『バレンタインデーの苦い思い出』

校長 高汐 康浩

毎年二月になると中学生時代の苦い思い出を思い出す。当時、同じクラスにひそかに思い焦がれていた人、Aさんがいた。とても素敵な人だった。誰にでも優しく、笑顔が素敵で、真面目で、勉強が得意で：その人のことを思うと夜も眠れないほどだった。

当時、ときどき男子の間では好きな人のことを話題にしていた。思春期真っただ中の中学生なので自然なことだろう。でも、私の性格のせいか、好きな人のことをオープンに話すことはできなかった。「高汐は好きな人はいるのか？」と友達から聞かれても、「いないよ。」と答えたり、気取って「恋愛には興味はないよ。」などと返したりしていた。でも、オープンに出来る友達をうらやましく思ってもいた。

十二月になると、生徒たちは年賀状を誰に出すのか、という話題で盛り上がった。男子生徒たちは何とかして女子生徒たちから住所を聞き出し、生徒手帳の「住所録」に書いてもらうことに夢中になった。ピンポイントに好きな人のところには誰も行かない。何人かの女子生徒に声を掛け、住所と名前を書いてもらい、その流れで意中の人に声を掛けるのだ。私も、好きな人はいないと言いつつも、友達と同じように何人かの女子生徒と住所交換をした。もちろん、なにげなくAさんとも住所交換をしたのだ。

ところで、なぜ、Aさんのことをこんなに好きになってしまったのか、ということについて話しておきたい。年度初めに、Aさんとは偶然隣の席になった。たまたま、出席番号順が同じだったのだ。(当時は男女別の出席番号だった)初めは何も意識をしていなかった。Aさんは、毎朝、「おはよう」と声を掛けてきた。そして、あいさつを交わした後は、前日のテレビ番組の内容やいろいろな話など、話題にして話をした。毎日の楽しい会話をするうちに、だんだんとAさんに対して、それまで経験したことのないような感情を抱くことになったのだ。

元旦の日は朝からソワソワしていた。母はいつもの私との違いに気付く、「落ち着かないね、どうしたの?」と聞いてきた。母の鋭い感覚に、さすがだなと思った。八時頃一台のバイクが家の前に止まった。私はすぐに郵便受けを確認しに行こうとしたが、家に来たのは父の知り合いだった。今度は、自転車も止まった。すぐに、郵便受けに行き年賀状の束を郵便屋さんから直接受け取った。私以外の家族宛の年賀状

がたくさん届いていた。家の外で束の中からAさんからの年賀状を見つけ、思わずガツポーズをした。Aさんからの年賀状をその場で抜いて、居間にいる家族に年賀状の束を渡した。私の行動にたぶん不信感をもっていたに違いないが、何も聞かずにした。「高汐くん、今年もよろしくお願ひします。いつもありがとう!」確かにこんなメッセージが書かれていた。単純思考の私は、Aさんは、私に気持ちを寄せられてるのだからと思いついてしまった。

さて、バレンタインデーの苦い思い出とは：当時も学校にはチョコを持ち込めなかった。だから、女子生徒はチョコを見つからないように隠し持つか、一旦帰宅してから好きな人に渡していた。受け渡し場所は暗黙のルールのよう、学校の北側の空き地であった。私も友達のBさんと一緒に空き地に寄り道をしていた。当然Aさんからのチョコを期待しての行動だ。空き地の端っこの放置された土管(※)にBさんと並んで座っていた。ふと正面を見るとAさんがこちらに向かっている姿が見えた。私は心の中で大きく年賀状のとき以上にガツポーズをした。私たちの前に立ったAさんはリポンのついた小さな箱を差し出したため、私は立ち上がり受け取ろうとした。そうしたら、なんとAさんは私の隣に座っているBさんに箱を渡したのだ。その瞬間に見事に私の恋心は大きく崩れ落ちた。なんとか笑顔を作り、Bくんに「よかったな!」と声をかけたが心の中は大泣きしたい位の悲しさというか、恥ずかしさというか、何ともいえない感情に支配されていた。

その後一ヶ月位は落ち込んでいたが、同時に自分のことについて時間をかけて振り返ることができた。この経験を通して気づいたことがあった。それまでは、自分のことでも他人が関わることも目標を達成させるときは、自分が何をすべきか、ということばかりにこだわっていた。他人のことを思いながらも他人を尊重していなかったことに気付いたのだ。言い換えれば自分の都合のよいように考えて行動していたのだ。難しいことだが、今でも、この苦い経験を教訓にして何をしても関係する人それぞれが思いや考えがあることなど、他の人のことを自分以上に尊重して行動したいと思っている。

※土管：「どかん」と読む。コンクリートで作った水道用の管、昭和時代には使われなくなった土管が空き地などに放置されていて子供たちが椅子がわりにしたり土管の中に隠れたりして遊んだ。



後期教育活動アンケートから分かること

- 89%の(前期比±0)生徒が、学習や生活に目標をもって取り組んでいます。
 全体の34%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。特に3学年の生徒の肯定的回答の割合が高くなっています。「よく取り組んでいる」と回答した生徒のうち55%が3年生です。76%(前期比+6)の保護者の方が肯定的回答をしています。
 - ★78%(前期比-3)の生徒が、防災に関する学習に意欲的に取り組んでいます。
 全体の29%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。「よく取り組んでいる」と回答した生徒のうち54%が3年生です。上級生がよい手本となっていることがわかります。81%(前期比+10)の保護者の方が肯定的回答をしています。本年度から四谷小学校と連携した防災教育の取組を行っています。将来、主体的に地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てていきます。
 - ◎94%(前期比±0)の生徒が、学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいます。
 全体の54%の生徒は「よく取り組んでいる」と回答しています。1年生は89%、2年生は94%、3年生は99%の生徒が肯定的回答をしています。89%の保護者の方が肯定的回答をしています。
 - ◎98%(前期比+1)の生徒が、交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っていると回答しています。
 改めて自転車の交通ルール、自転車安全利用五則を再確認しましょう。94%の保護者の方が肯定的回答をしています。
 - ◎98%(前期比+1)の生徒が、友達などに思いやりの気持ちをもって接しています。
 1年生は98%、2年生は99%、3年生は100%の生徒が肯定的回答をしています。全体的にやさしい心や思いやりの気持ちがしっかりと育っていることがわかります。93%の保護者の方が肯定的回答をしています。
 - ◎98%(前期比±0)の生徒が、道徳の授業にしっかりと取り組んでいます。
 全体の50%の生徒は「とてもよく取り組んでいる」と回答しています。豊かな心を着実に育む道徳科授業を行っています。87%の保護者の方が道徳の授業はお子さんの心の成長に役立っていると回答しています。
- ◆◇今年度も、教育活動に対するたくさんのご意見等を直接いただいております。ありがとうございます。◇◆

「横田先生からいただいたメッセージを紹介します」
 ◎体育館への入り方が、椅子の持ち方も含めて整然としていました。
 ◎大勢の中で「府中の有名なもの」を答えたり、ステージにあがって演奏したり、質問したりできるのは立派です。
 ◎それを応援する全校の雰囲気、風土を素晴らしいと感じました。小山先生の演奏に対する雰囲気も同様です。
 ◎飛び入り参加の生徒のステージでリズムをとる、踊るノリがお見事でした。
 ◎あれだけのマイク、プロジェクターなどの機器を使いこなし、データ管理してくださる酒井先生をはじめ先生方に感謝します。私は、全くついていけませんでしたが、2、3、4校時、各学級の授業を見せてもらいましたが、どこの学級もとても落ち着いて学習していました。
 ◎廊下の掲示物、学習物に手書きが多く、新鮮でした。字が丁寧に工夫が凝らされています。
 ◎「給食と一緒に食べましょう」と校長室に声をかけにきてくれた1年5組女子生徒に感激しました。
 ◎昼休みに私と話がしたいと校長室に来てくれた生徒が何人もいたと聞きました。さらに感激しました。
 ◎全校朝会での生徒の皆さんの礼が実に丁寧に美しくかったです。
 ◎すべて朝会での心洗われるエピソードでした。
 ◎航空会社から、羽田空港が混んでいるので早めに来るようにとの連絡が入ったため、体育館での話と違う動きになったことを申し訳なく思います。



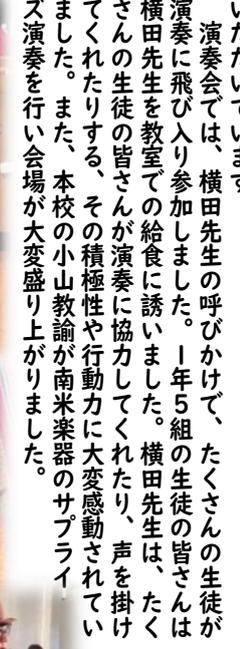
横田先生



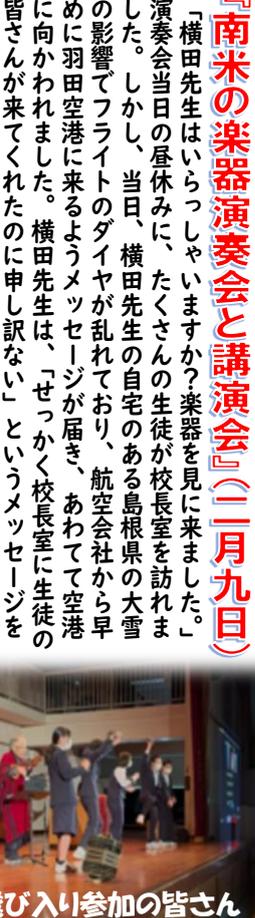
チャフチャス



アルパ



小山先生



飛び入り参加の皆さん

『南米の楽器演奏会と講演会』(二月九日)

「横田先生はいらっしゃいますか？楽器を見に来ました。」
 演奏会当日の昼休みに、たくさんの方の生徒が校長室を訪れました。しかし、当日、横田先生の自宅のある島根県の大雪の影響でフライトのダイヤが乱れており、航空会社から早めに羽田空港に来るようメッセージが届き、あわてて空港に向かわれました。横田先生は、「せっかく校長室に生徒の皆さんが来てくれたのに申し訳ない」というメッセージをいただきました。
 演奏会では、横田先生の呼びかけで、たくさんの方の生徒が演奏に飛び入り参加しました。1年5組の生徒の皆さんは横田先生を教室での給食に誘いました。横田先生は、たくさんの方の生徒の皆さんが演奏に協力してくれたり、声を掛けてくれたりする、その積極性や行動力に大変感動されました。また、本校の小山教諭が南米楽器のサブライズ演奏を行い会場が大変盛り上がりしました。